CSR report 2008

企業としての役割、私たちに出来ること

三菱製紙販売株式会社

編集方針

　このCSRレポートは、三菱製紙販売の環境活動及び社会貢献活動を広く皆様へお伝えすることを目的として、本年より発行を開始いたします。初回となる今回は、当社らしさが皆様にご理解いただけますように、各活動の内容や考え方、この1年間の実績と評価、またこれから当社がめざそうとしている方向性を記載するように心がけました。活動の詳細につきましては、当社ホームページにてもご覧いただけます。

http://www.mitsubishi-kamihan.co.jp

対象期間　2007年度(2007年4月1日～2008年3月31日)
※一部対象期間外の内容も含まれます。

次回発行　2009年9月予定

尚、今後皆様からのさまざまなご意見を参考にしながら、毎年内容を充実させてまいります。

目　次

トップコミットメント

「地球環境を考え、人と社会をつなげていきたい」

1912年（明治45年）創業以来、三菱製紙販売は紙類の専門商社として、生活に深く関わりのある紙製品を多くのお客様へ提供することを通じて、地域社会や産業、文化の発展に貢献しつつ、皆様のご支援のもと今日までその歩みを続けてまいりました。

これから将来に向けて、これまで築き上げてきたお取引先との信頼関係を大切にし、さらに地球環境やCSR（企業の社会的責任）にも配慮した企業経営を心がけ、皆様のご期待に応えてまいりたいと願っております。

当社は、現在中期経営計画「エボリューション10」に取り組んでおり、計画の基本方針の1つに「CSR」を据え、「法令遵守」、「社会貢献」、「環境商品の拡販」を柱として、コンプライアンス意識の徹底、CSRの自覚と実践、環境団体・活動への積極的な参加、人権啓発活動を通じた個の尊重、官公庁・企業・市民団体への自然保護と森林保全へのPR活動促進、再生商品の拡充、FSCの理解とユーザーへの浸透等を目標に掲げ、社員全員参加の下に全力で取り組んでおります。

なお、既に従来より取り組んでおります地球温暖化防止につながる諸施策としての省エネルギーの推進、廃棄物削減、グリーン購入促進等につきましても引き続き積極的に取り組み、持続可能な循環型社会形成に努めるとともに、企業活動のさまざまな場面で環境負荷低減に向けた努力を続けてまいります。また、地域社会との共生を自覚し、積極的に社会貢献活動を推進し、社会とのより良い関係を構築していくため、更なる努力を重ねてまいります。

今後とも、株主、お取引先や地域社会をはじめとする多くのステークホルダーの皆様に対し情報を開示し、当社の事業活動や環境改善活動に対するご理解をいただくことにより、より一層皆様のご期待にお応えできるよう、努めてまいる所存でございます。

三菱製紙販売株式会社
取締役社長
平松由紀夫

CSRの取り組み姿勢

～私たちは、人と社会と環境をつなぐCSR活動を進めています～

CSR推進方針

企業として社会に貢献し、また信頼され共存していくためには、利益の追求だけではなく、企業と関わる様々なステークホルダーの皆様に対して公正な企業活動を通じて社会的な責任を十分に果たしていくことが責務となっています。

当社は法令や社会規範を遵守し、環境や社会との関わりを含めて社会から信頼される企業を目指し、2003年10月に三菱製紙販売企業行動憲章を制定してCSRの取り組みに関する基本としてまいりました。更にその社会的な使命に対する取り組み姿勢を明確にするため、新たに2007年7月にCSR委員会を発足させ活動を開始しています。

今後とも社会性、透明性の高いバランスの取れた企業活動を通して倫理観のある企業風土づくりを進め、社内の隅々まで順法精神を浸透させ内部統制を正しく機能させることにより、皆様から信頼される企業をめざして、更なる推進に取り組んでまいります。

情報の公開と信頼性確保

環境保全活動の推進

個の尊重・ハラスメントの禁止

法令遵守の徹底

地域社会とのコミュニケーション

国際社会との協調

三 菱 製

CSR推進体制

当社ではCSRの推進を積極的に行うために、次の組織体制を構築しています。

CSRの推進はCSR委員会を頂点とし、その下に事務局としてCSR推進室を設置し、傘下にコンプライアンス委員会、環境委員会、社会貢献活動委員会を設置した体制をとっています。

適正な企業活動を通じて利益を確保し、株主の皆様への還元をめざします。ホームページなどを通じて、経営計画や財務内容などの経営情報を的確に開示するとともに、経営の長期安定化を図り企業価値の向上に努めます。

良識と誠実さをもってお客様と接し、対等な立場で充分に話し合います。FSC森林認証紙など、エコ商品の情報を積極的にお客様に提供するとともに、品質、価格、納期、安定供給等諸条件を公正な基準と適正な手続きで行ないます。

企業活動においては法令を遵守し、公正、透明、自由な競争を行ないます。良き地域住民となるよう地域社会との調和に努めるとともに、多様なNPO活動に積極的に参加し、社会の安定と発展に貢献します。

性別、信条、身体的条件、社会的身分による差別やハラスメントを行ないません。また他人がそのような行為をすることを許しません。従業員の生み出す創造性を尊重し、一人ひとりの能力を充分に発揮できる働きやすい職場環境の整備に努めます。

環境マネジメントに関する国際規格の趣旨を踏まえ、「環境コーディネート型企業」をめざすとともに、「循環」「共生」「参加」を基調とした持続可能な社会の実現をめざします。また森林認証の取得など、森林資源の適正管理を通じて地球温暖化防止に貢献します。

当社ホームページ でもご覧になれます。
http://www.mitsubishi-kamihan.co.jp/csr/policy.html

環境マネジメント

私たちは、次世代に豊かな自然環境と社会を引き継いでいくため、環境保全活動を重要な課題と位置づけ、環境に配慮した事業活動を推進しています。

環境方針

当社は、未来に豊かな自然環境と社会を残していくために、環境保全活動を重要な課題と位置づけ、環境に配慮した事業活動を推進しています。

2001年に環境方針を制定して以来「ISO14001」の取得と運用を通じて環境改善に取り組むとともに、紙パルプの流通企業として森林資源の保全を社会的責任と認識し、「FSC森林認証紙」の普及に努めてまいりました。今後も、環境コーディネート型企業としてさまざまな視点から環境保全に取り組んでまいります。

環境方針

《基本理念》

三菱製紙販売株式会社は、人類存続の基盤である地球環境を健全な状態に保ち、次の世代に引き継ぐことが人類共通の課題であることを認識し、「循環」「共生」「参加」を基調とした持続的発展が可能な社会の実現に貢献します。

《行動指針》

当社は紙パルプ産業における流通企業としての特徴を活かし、直接的及び間接的な環境影響に配慮し、事業活動を通じて顧客へ積極的に情報を提供するとともに、森林保護、グリーン購入などへ積極的に参加し、地球環境の保全と資源の保護に貢献するために以下の指針を定め、継続的改善に努めます。

１．循環型社会形成への貢献

ＦＳＣ森林認証紙など、エコ商品の情報を積極的に顧客に提供するとともに、メーカー及び物流業者にも働きかけ、環境コーディネート型企業を目指します。

又、リデュース・リユース・リサイクルの徹底に取り組み、資源の有効利用を促進するとともに廃棄物の減少に努めます。

更に、当社で用いる物品及びサービスに関しても、環境に配慮したものを積極的に採用し、循環型社会の形成に参加します。

２．法の遵守と環境改善活動への参加

「廃棄物処理法」、「リサイクル法」、「グリーン購入法」、「エネルギー政策基本法」等、環境に関連する法規制及び当社が同意するその他の要求事項を遵守するとともに、それぞれの法律の趣旨を踏まえ環境改善活動に積極的に参加します。

２００６年　１月１日
三菱製紙販売株式会社
取締役社長　平松　由紀夫

紙・パルプ類の調達について

当社は、森林資源の保全のため、適切に管理された森林に由来する紙・パルプ類の購入をめざし、以下の原材料が含まれないように、最大限の努力をいたします。

1. 違法に伐採された木材
2. 伝統的権利又は市民権を侵害して伐採された木材
3. 管理活動により高い保護価値が脅威にさらされている森林から伐採された木材
4. 植林地又は森林以外の用途に転換されつつある森林から伐採された木材
5. 遺伝子組み換え樹木が植林されている森林からの木材

環境マネジメントシステム

当社は、2001年10月、東京本店において「ISO14001認証」を取得し、2002年10月には大阪、名古屋、東北、九州の各支店において「ISO14001」の認証範囲を拡大しました。

審査登録機関による審査を年に1回（更新審査は3年に1回）受けるとともに、各事業所とも内部監査を毎年実施し、環境マネジメントシステムの運用状況をチェックし、マネジメントレビューを実施しています。

環境に配慮した事業活動を推進するとともに、オフィスにおける省エネ活動やグリーン購入等を通じて、循環型社会の形成へ向けて環境改善活動に積極的に参加しています。

【環境マネジメント推進体制】

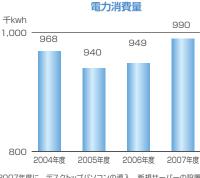
環境改善活動

当社では、オフィスにおいてPPC用紙の両面印刷の推進や文書管理の電子化を進めており、発生する古紙やゴミについては細かく分別することで、リサイクル率向上を図るとともに廃棄物の削減に努めています。

また、地球温暖化防止活動の一環として、オフィスにおける電力使用量の削減のため、「ノー残業デー」の設定や空調管理に取り組んでいます。

更に地球温暖化防止の国民的プロジェクト「 チーム・マイナス6%」 に2008年1月より参加し、クールビズ（ウォームビズ）や昼休み中の「蛍光灯50%オフ」「PCのスリープモード設定」など従業員一人ひとりが環境意識を持って取り組む運動を実施しています。

2007年度は残念ながら電力使用量が増加いたしましたが、本年度は電力をはじめ、他の項目におきましても削減に努めてまいります。

※事務用品の他に、社内で使用しているリース品も含まれております。

2007年度に、デスクトップパソコンの導入、新規サーバーの設置により2006年度に比べて、電力消費量が増加いたしました。

当社ホームページ でもご覧になれます。
http://www.mitsubishi-kamihan.co.jp/csr/eco.html

【特集】豊かな森林資源を未来の社会へ

社会や環境問題に対して、三菱製紙販売ができることはなにか。
特に、「紙」を扱う企業として、森林資源の保全と有効活用は重要な責務となっています。
わたしたちは、将来にわたり持続的な森林資源の活用ができるよう、FSC森林認証紙の普及や環境教育など幅広い視点で更なる取組みに努めています。

森づくり活動体験を通じて

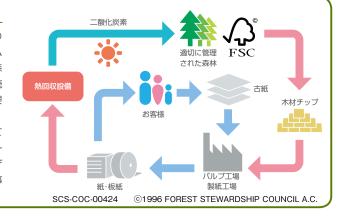
森林の減少が地球規模の環境問題となっている昨今、それは国内の森林でも例外ではなく、林業の衰退等を背景に手入れが行き届かず、荒廃が進んでいる森林が数多く見られるようになっています。

2007年11月、三菱製紙販売では若手社員の研修で、岩手県小岩井の森林にて森づくり作業を体験しました。森林は、間伐（間引き）や枝打ち、下草刈りといった作業を通じて、適切な森林管理がなされています。ひとつひとつの作業の意味を確認しながら、実際に体験することで、僅かではありますが、その苦労と大切さを認識することができました。

わたしたちは社員一人ひとりの知識や意識の向上が、企業としての取組みに繋がると考えます。今後も今回のような社員教育を含め、様々なことにトライしてまいります。

FSC森林認証制度

世界中で森林破壊や違法伐採が進み、大切な「森」が失われつつあります。森は二酸化炭素（CO_2）吸収の助力となり、降雨を溜めるダム代わり（水源涵養）にもなり、地球温暖化防止に役立ちます。FSC森林認証制度は、生態系を維持しながら適切に管理された森林を持続可能に経営していくことを基準としており、第三者機関の審査を必要としています。
FSC森林認証マークの入った印刷物には必ずCOC認証番号が入っており、その番号を遡れば、どこの森で取れた原料か判ります（トレーサビリティー）。加工・流通・配送等に関わる企業がCOC認証を繋げることで、その価値を高め、その紙を使用することで「森を守る」事に繋がります。

当社ホームページ でもご覧になれます。
http://www.mitsubishi-kamihan.co.jp/csr/fsc.html

エコプロダクツ2007
～森を守りながら紙を作る～

当社は2007年12月に東京ビッグサイトで開催された国内最大級の環境展示会「エコプロダクツ2007」に三菱製紙グループとして出展、紙の原料となる森林資源の重要性、持続可能な森林経営と、そこから得られた木材の利用と循環について、「FSC森林認証制度」をキーワードに説明させて頂きました。

紙の循環には古紙の循環を促進する再生紙と、森林の循環を基本とするバージンパルプの使用があります。現在注目されている森林認証。その中でも「FSC森林認証制度」は最も基準が厳しい制度として知られています。

期間中ブース内には、三菱製紙株式会社が岩泉町に保有するFSC森林認証の森から運ばれてきた木材を展示。

チップやパルプなども見て触って、紙の原料を身近に知っていただくようにしました。

また、環境教育プログラムに参加し、ブースは来場したたくさんの子供たちとのコミュニケーションの場となりました。

環境コーディネート型企業の実現に向け、社員の環境知識の向上、さらにはCSR活動の一つとして定期的にエコプロ勉強会を開催しています。

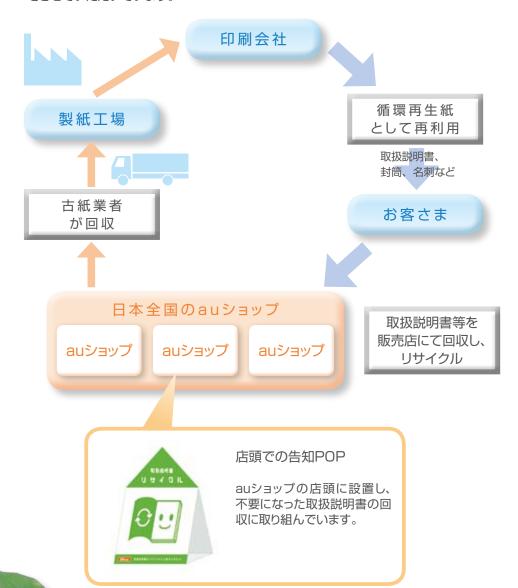
3日間の期間中大盛況を納め、御来場頂きました皆様には感謝致しております。今後も機会ある限り、説明責任を果たしてまいります。

【特集】「環境コーディネート型企業」をめざして

わたしたちはお取引先とともに、環境に配慮した取り組みを行なっています。

【事例】KDDI株式会社 様 [取扱説明書に使用している用紙のリサイクル]

KDDI株式会社様は、携帯電話機に付属の「取扱説明書」や、「携帯電話梱包箱」「パンフレット」「チラシ」などのリサイクル活動と、循環再生紙として同社の印刷物へ再利用する取組みを全国にて実施されています。

三菱製紙販売はその仕組みを構築するとともに、紙の代理店としてのノウハウを活かした協力をさせていただいています。

【事例】 三菱UFJ投信株式会社 様 [FSC森林認証紙の採用]

環境意識が高まっている現在、様々な環境配慮商品の中でも認知度が高いFSC森林認証紙。

実際に使っていただいているお客様に、採用の理由を伺いました。

FSC森林認証紙の採用の経緯

社内環境意識の高まり

環境意識の高いユーザー様の増加

↓

CSR推進室設置(2006.4)
「会社でできることから始める」

案内書・報告書 大量の印刷物 → 印刷会社と打ち合わせ → メジャーなものとして候補 100%再生紙 SOYINK

100%再生紙の供給不安定

▼

FSC森林認証紙を知る

三菱UFJ投信株式会社
CSR推進室
西沢　良夫室長

(2008年2月末日現在)

FSC森林認証紙採用の決め手は何ですか?

「持続可能」のキャッチフレーズが会社の経営理念とマッチしたこと、第三者機関が認証しているため信頼できること、FSC森林認証制度を通じた森への貢献※1が会社のイメージキャラクター※2とマッチしたことです。

※1 2008.5.23にFSC森林認証の森にて社員による植樹祭を実施。以後も下刈りなどに継続して取り組む予定。

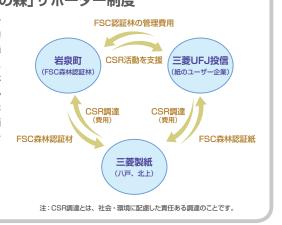
※2 タネタネフレンズ:6人の種のキャラクター。「投信」=「じっくり育てるもの」というイメージから、種を会社のキャラクターとした。このキャラクターの故郷は森である。

今後の取り組みとしては?

プロジェクトチームで検討会を開いて打ち合わせを続け、地球温暖化ファンドなどのPRに、FSC森林認証紙をPRすることも考えています。

「FSC森林認証の森」サポーター制度

FSC森林認証紙のユーザー企業が認証林管理費用の一部を岩手県岩泉町に提供し、岩泉町が環境及び経済的に豊かな森をつくり、三菱製紙株式会社が森づくりの過程で発生する間伐材等の低質材を認証紙に使用することから成り立っています。ユーザー企業は、FSC森林認証林を従業員の環境教育やリクリエーションの場として利用します。FSC森林認証紙が森と消費者をつなぐ役割を果たしています。

注:CSR調達とは、社会・環境に配慮した責任ある調達のことです。

従業員とともに

「従業員とともに歩み続ける会社・・・
いきいきと、安心して働けるように」

人事制度

従業員が夢を持って安心して働く喜びを実感できる会社をめざすことを目標に、2006年10月新人事制度を導入しました。
この制度は、従業員全員が経営に参画する意識を持ち各自がその職責を果たして会社に貢献することで、「能力」ではなく、職務を遂行するのに必要な「行動」をどのようにとっているかを評価します。
「与えられる業務」から「目標達成の業務」への転換を図るため、従業員全員が目標管理に取り組むことによって、従業員の自己成長を支援し、人材の育成を図っています。

育児・介護休業制度

育児・介護休業法に則り、育児や介護を必要とする家族の介護に関する休業制度を定めています。併せて短時間勤務の制度や子供の看護休暇制度を併設し、従業員が仕事と家庭を両立できる様、会社がバックアップしています。

育児・介護休業制度利用者実績

2004年度	2005年度	2006年度	2007年度
1名	2名	2名	0名

再雇用制度

2006年4月の「改正高齢者雇用安定法」の施行に伴い、再雇用制度を導入しました。この制度は、定年後も健康状態など一定の条件を満たした者で引き続き就業を希望する従業員を、法令による雇用確保措置に係る年齢の段階的な引き上げに合わせ、最長65歳の誕生日の前日まで雇用する制度です。
この制度により、従業員の定年退職後の雇用（高齢者雇用）を促進しています。
昨年1年間で4名の従業員がこの制度を利用しています。

メンタルヘルス

外部相談窓口として専門カウンセラーによるEAP(Employee Assistance Program)相談室を設置し、従業員とその家族の心と身体の健康維持ができるようになっております。また、従業員を対象としたメンタルヘルスの講習を行っています。

当社ホームページ でもご覧になれます。
http://www.mitsubishi-kamihan.co.jp/csr/employees.html

地域社会とともに

「環境と社会をつなぐ大切なコミュニケーション・・・
地域社会とのパートナーシップ」

地域社会との共生を自覚し、良き企業市民として、積極的に社会貢献活動に取り組みながら、「循環」「共生」「参加」を基調とした持続的発展が可能な社会の実現を目指します。

❶ 森林保全活動への支援「中央区の森」

当社は、東京都中央区が主催している森林保全活動「中央区の森」を支援しています。

「中央区の森」事業は、深刻化している地球温暖化を防止するため、CO_2を吸収する大切な森林を保全し、次の世代につながる豊かな森づくりを進めるとともに、区民・企業が森林保全活動に参加する仕組みづくりや、自然環境への関心を深めるための事業も展開しています。

この寄付金は、「中央区の森とみどりの基金」に積み立てられ、森林ボランティア団体等への活動費助成に使用されます。

❷「中央通りはな街道」沿道美化活動に参加

地域社会への貢献・調和をテーマとした、銀座中央通りを季節の花々で彩る「はな街道」(フラワーボランティア)へ、花壇に季節の花々を咲かせるための「フラワー基金」を提供する「花奉行」として参加するとともに、花植えや清掃の活動にも協力しています。

❸「まちかどクリーンデー」にて清掃活動を実施

2007年6月から東京都中央区が主催する「まちかどクリーンデー」に協賛し、月に一度、従業員がゴミ袋を片手に当社事務所周辺の清掃活動を実施しています。『住みたい、働きたい、訪れたい』清潔で、楽しいまちづくりに協力しています。

まちかどクリーンデー参加者数

6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	2007年度参加者合計
11名	12名	9名	11名	10名	10名	10名	9名	11名	8名	101名

❹ AED自動体外式除細動器 (Automated External Defibrillator)

不測の事態に備えて、駅や空港などの公共施設に広く設置されているAED(自動体外式除細動器)を本店並びに、大阪支店に導入しました。

AEDは救急車が来るまでの間、負傷者に電気ショックを与えることで救命処置をするもので、専門知識や資格を必要とせず、誰もが使用できます。

受付に備えておき、いつでも社内・外にて利用できるようにしています。

❺ 大阪市環境局より「ごみ減量優良標」を受賞

大阪支店では、ビルに入居しているテナント10社と共に、ごみ減量活動に取り組み、その結果、大阪市環境局より2003年度・2004年度・2007年度と3回、事業系廃棄物の減量推進及び適正処理に優秀な実績を上げている大規模建築物の所有者を対象に表彰する「ごみ減量優良標」を受賞しました。

当社ホームページ でもご覧になれます。
http://www.mitsubishi-kamihan.co.jp/csr/community.html

環境･社会貢献活動のあゆみ

年	環境・社会貢献活動内容
2001	ISO14001認証取得準備室設置 環境方針制定 本店　ISO14001認証取得 ISO14001認証取得準備室を環境室に変更
2002	大阪支店・名古屋支店・東北支店・九州支店ISO14001認証取得 本店・大阪支店・名古屋支店でFSC森林認証の一環であるCOC認証を国内の紙代理店で初めて取得
2003	当社ホームページの環境ページを改修 WWFジャパン及びWWF山笑会に加盟 COC認証を全国支店・出張所に拡大 三菱製紙販売行動憲章を制定 エコプロダクツ2003に出展 大阪支店「ごみ減量優良標」受賞
2004	東京都中央区ISO推進会議（12社）に参加 ISO14001認証、2004年版へ移行 エコプロダクツ2004に出展 大阪支店「ごみ減量優良標」受賞
2005	個人情報保護規定制定 メンタルヘルス対応として外部ＥＡＰ相談窓口を開設
2006	新人事制度導入 「改正高齢者雇用安定法」による再雇用制度導入 環境方針を一部改定
2007	まちかどクリーンデーに参加 森林保全活動「中央区の森」に参加 沿道美化活動「中央通りはな街道」に参加 三菱製紙販売コンプライアンス行動基準制定 エコプロダクツ2007に出展 三菱製紙販売行動憲章を一部改定 大阪支店「ごみ減量優良標」受賞
2008	「チームマイナス６%」プロジェクトへ参加 中国・四川大地震　義援金　40万円

2008年度の取り組み

本年度、新たに取り組んでいることについてご紹介いたします。

CO_2削減

❶ 水道の使い方で減らそう

本店では本年4月より、大阪支店では本年8月より水道蛇口の流れを少なくする節水に取り組んでいます。

❷ 電気の使い方で減らそう

事務室において、昼休みに照明器具の半分を消灯、退席時のパソコンのディスプレイ電源のOFF、トイレ・廊下・階段の一部電気OFFに取り組んでいます。

地域社会とともに

「私たちの地球を守ろう」キャンペーンに参加

大阪支店にて株式会社朝日写真ニュース社が主催する「私たちの地球を守ろう」キャンペーンに参加いたしました。そのキャンペーンの活動の一環として、英和週刊新聞「朝日ウィークリー」1年間分と専用ラックを大阪市立東商業高校に寄贈いたしました。

環境教育

岩泉町「森林認証の森」研修

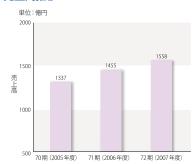
昨年は年次別教育研修として、小岩井農場森づくり研修を行いましたが、本年は7月に岩泉町森林認証の森を見学いたしました。

三菱製紙株式会社の森づくり活動の現場であります岩泉町を実地見学し、森づくりの役割、森林経営等を学習いたしました。

詳細につきましては、次回号にてご報告いたします。

会 社 概 要

本店所在地	東京都中央区京橋2丁目6番4号
創　業	1912年(明治45年)2月
設　立	1956年(昭和31年)8月
資本金	6億円
事業内容	紙類・パルプ及び紙加工品の販売 製紙用工業薬品の製造並びに販売
代表者	取締役社長　平松　由紀夫
売上高	155,767百万円(2008年3月期)
経常利益	1,234百万円(2008年3月期)
従業員数	309名(2008年3月期)

売上高推移

品目別売上実績(72期)

三菱製紙販売株式会社

東京都中央区京橋2丁目6番4号

TEL 03-3566-2300　FAX 03-3566-2339

問い合わせ先　CSR推進室

http://www.mitsubishi-kamihan.co.jp

本レポートには、FSC森林認証紙（ニューVマット FSC-MX 127.9g/㎡）を使用しています。